

# ジャーナリスト

日本ジャーナリスト会議 (JCJ) <https://jcj.gr.jp>  
〒101-0061 千代田区神田三崎町3-10-15 富士ビル501号  
電話 03-6272-9781 FAX 03-6272-9782  
メール office@jcj.gr.jp ブログ <http://jcj-daily.seesaa.net/>  
年間購読料4,000円(送料込み) 振替・00190-2-76501



THE JOURNALIST

2023.10.25



J C J 賞受賞者の皆さん

## 旧統一教会に 法人解散命令請求

### 世論が追い詰めた 問題はこれからだ

文部科学省は10月13日、東京地裁に対し、宗教法人の世界平和統一家庭連合(旧統一協会)への「解散命令を請求した。宗教法人としての解散を求め、非訟事件手続法で、裁判所が非

#### 信者落胆「変化見えた矢先」

#### 統一教会の解散請求

#### 対教団 踏み込む

旧統一教会の解散を請求  
文科省、地裁に証拠5千点

#### 安倍氏と教団の関係「知らない」

90年代に国会論議 請求至らず

解散命令請求を報じる各紙

「信者」勧誘や、多額の献金強要、霊感商法による物品販売、強制的な結婚、養子縁組などをどうやめさせられるかが問題で、まず、法人財産をどう保全し被害者に還元させるかが大きな課題だ。これについては「財産凍結の特例法が必要」との提案も出てきており、

### 統一教会問題 幕引きさせざるな

鈴木エイト氏、金平氏が対談

J C Jも加わって組織している「NHKとメディアの今を考える会」は10月7日、J C J大賞を受賞したジャーナリスト鈴木エイト氏と、TBS「報道特集」の金平茂紀さんの対談「統一教会へ

「統一教会は、自民党と容疑者の取材を通じて明らかになったこと、法人解散命令が出たあとの教会がどうなるか、報道の問題点、課題などについて詳しく語った。エイトさんによると、旧統一教会は、自民党と

### 第66回 J C J 賞贈賞式 多様な課題に取材で迫る

日本ジャーナリスト会議は9月23日、東京の全水道会館で第66回 J C J 賞の贈賞式を開いた。大賞に選ばれたのは安倍晋三元首相の銃撃死からわずか3カ月足らずで緊急出版された『自民党の統一教会汚染 追跡3000

「追跡3000日」では、20年来にわたって統一教会問題取材をフリーの立場で続けてきた。『追跡3000日』では身の危険を顧みない取材と綿密な調査でつかなだ自民党の統一教会汚染の実態を暴き、『山上徹也からの伝言』では、ツ

の癒着などの批判に反論し、内部の締め付けを凶って、「スラップ訴訟」を乱発している。

#### 山上は読者だった

山上徹也は、事件後弁護士さんから言われて、私の書いたものをほぼ完全に読んでくれていたことがわかり、さらに、メールをもらって返事を書いていたこともわかった、という。

#### 幕引きさせざるな

さらに、法人格が否定された後の旧統一協会について、「経済的には一層苦しくなり、財政的引き締めをし、献金し、韓国へ送金する要求も増えているだろう」と指摘。

対談では、岸田首相はとにかくこの対策を進めないと政権がもたないの、自派の盛山正仁氏を文科大臣に据え、党内からの声を封じて、法人としての解散命令を出すことにした、との分析も紹介され、「これで終わりではない」と強調された。

朝日放送の島袋夏子さん、NHK・E TV特集「市民と核兵器」ウクライナ危機の中の話」で、戦禍の地で核兵器の問題に迫った岡田亨さんの各氏が登壇し、それぞれのテーマや取材に懸けた思いを語った。

また、取材の都合で欠席のNHK・E TV特集「ルポ死亡退院」精神医療・闇の実態」で東京・八王子の滝山病院の患者暴行事件から心の病を抱える患者に対する医療に迫

った青山浩平さんはビデオメッセージを寄せた。大賞の鈴木エイトさんもこの日、大学での特別講義のため、会場でビデオメッセージが流されたが、講義を終えて贈賞式に駆けつけ、会場の拍手と笑顔に迎えられる受賞の喜びと、統一教会問題についてスピーチした。

贈賞式の記念講演では両宮凜嬢さんが、女性の貧困の深刻化や、若年層にも広がる貧困状況の悪化について語った。

# 大賞 自民党の統一教会汚染

## 孤独な闘いで癒着暴く

ジャーナリスト  
鈴木エイトさん



これだけ重大な問題をなぜメディアは追及しないのか。そう感じながら、いつか世に問うために報われない努力を続けてきました。安倍晋三元首相が銃撃される不幸な事件をきっかけに、メディアもようやく気づきました。

事件後、メディアに画像、動画、音声データなどをオープンソースとして

提供してきたのは、それを一緒に追ってほしいからです。健全なジャーナリズムの復権につながったと思います。

僕がメインに寄稿していたウェブメディアは、昨年5月に閉鎖され、ノンフィクションの賞に応募しても最終選考には残らず、出版社に企画を持

ち込んでなかなか通らない。そこに起きたのが安倍元首相による関連団体へのビデオメッセージ送付。一番驚いたのは映像が公開されても、安倍氏が自分の政治生命や自民党の選挙に影響はないだろうとタカをくくったことでした。映像は宗教二世には衝撃で、山上徹也被告にはものすごい絶望があったと思います。

彼のツイッターで、僕の記事を全部読んでいたことが後でわかり、安倍

氏は狙った彼の動機を僕の記事が担保したのではないか。その事実を直視して、激しく落ち込みました。とすれば彼の今後の裁判で、正しい情報、適切な情報を提示するところが僕なりの責任の取り方だと思っています。

ビデオメッセージは銃撃事件の最後のトリガーとなりましたが、そう言った責任の一端はメディアにもあると思います。

2000年代中頃まではメディアも、統一教会と政治家の関係を報じました。その後、訴訟リスクや面倒なクレームを恐れて報道がなくなった。自主規制でしょう。教団側

は鈴木エイト排除だけに集中すればよく、統一教会と政治家の癒着がより深まった。事件はそんな中で起きました。

21年前、統一教会による街頭での偽装勧誘の阻止活動を始めて以来、追及を諦めようと思ったことは一度もない。教団と政治家の関係をもっと早く世に問えていれば、安倍元首相暗殺も山上被告が犯罪者になることも防げたかもしれません。

統一教会の問題では、社会に可視化されていない問題が多い。声をあげられない被害者にスポットを当てていきたいと思っています。

21年前、統一教会による街頭での偽装勧誘の阻止活動を始めて以来、追及を諦めようと思ったことは一度もない。教団と政治家の関係をもっと早く世に問えていれば、安倍元首相暗殺も山上被告が犯罪者になることも防げたかもしれません。

統一教会の問題では、社会に可視化されていない問題が多い。声をあげられない被害者にスポットを当てていきたいと思っています。

# 南西諸島の防衛強化を問う

## 再び沖縄を戦場にせず

琉球新報社  
池田 哲平さん



連載の企画を練り始めたのは昨春秋、沖縄県庁記者クラブと東京報道部、宮古、石垣の支局長らが進めました。23年1月3日付から「自衛隊南西シフトを問う」の題で4月までに30回掲載し、「追う南西防衛強化」のワッペンを付け一般記事でも報じました。

自衛隊の南西配備強化は2010年代の初めから、与那国町への配備や宮古、石垣島の部隊配

備へと進みました。昨年末の安保関連3文書の決定で、日本の安全保障政策は大転換し、昨年春から在米紙、大手メディアを含めてスクープ合戦が繰り広げられました。そこでは政府発表に追従し、発表内容がその

ままニュースで流れるところがあつたかなと感じています。

当時、自衛隊配備について沖縄県民が感じたのは、地域コミュニティ変容への不安でした。賛否で2分してしまう。なぜ自衛隊が沖縄に必要かという根本的な問いにも目が向けられていませんでした。

私たちは沖縄の県紙として、政府の国防政策を

見つめ直そうと企画を始めました。「台湾有事」の危険性についても、政府説明と住民が感じている、実際に島で起きていることのアプローチを意識しました。

与那国島では、沿岸監視部隊との説明で（自衛隊配備を）容認した元町長を取り上げました。元町長は（南西シフトによる）さらなる部隊配置と、米軍が初めて訓練で島に入ることに強い危機感をもっていました。自衛隊配備の強化で、沖縄が標的になる懸念もすくなく高まっています。起き

て欲しくはないですが、有事の時に本当に住民は逃げる事ができるのかなど、問題にもアプローチしました。

沖縄には米軍専用施設の7割が集中し、今後は自衛隊の負担まで背負っていくことになりそうです。私たちは新年1月1日付で防衛省のシンクタンク、防衛研究所が21年度に中国との戦闘を想定した研究を取りまとめたことを報じました（過去の沖縄戦と同じ「持久戦」の再現だと琉球新報は社説で批判）。私たち沖縄の記者は「2度と沖縄を戦場にしない」ことをしっかりと掲げていくことが大切だと思っています。

担当の府警の建物内で、その声と歩みで、被爆者と一緒に行かない、何の力にもなれない、自分が苦しくなってきた。やっぱり広島原爆を伝えていきたい、長崎でも同じような状況で救われていない人がいると思う、（入社して5年）「早すぎる」という意見もいただいたのですが決断しました。

4月に広島市に移住し、フリーランスとして頑張っています。

いま、被爆者の方も私も「新しい戦前」に危機

# 「黒い雨」訴訟

## あの戦争は終わらない

ジャーナリスト  
小山 美砂さん



実は私、毎日新聞社を昨年末に退職しました。本を出す数カ月前の22年4月、最初の赴任地、広島支局（2017年）から大阪社会部に異動しました。ところが広島県の黒い雨訴訟の当事者の方から「今もまだワシのところには被爆者健康手帳がこん」明日の命もわからななで、毎日、郵便ポストをあけて待つんじゃないが、広島市から被爆者として認められない、どうしたらええんじゃない、などの電話が、出身地の大阪に戻っても届くのでした。

担当の府警の建物内で、その声と歩みで、被爆者と一緒に行かない、何の力にもなれない、自分が苦しくなってきた。やっぱり広島原爆を伝えていきたい、長崎でも同じような状況で救われていない人がいると思う、（入社して5年）「早すぎる」という意見もいただいたのですが決断しました。

4月に広島市に移住し、フリーランスとして頑張っています。

いま、被爆者の方も私も「新しい戦前」に危機

えたいと、支援と取材の生活をしていきます。この本には、諦めずに闘い続けている新しい裁判の原告の皆さん、救済された皆さんが紡ぎ出した言葉を記しました。この本の意義をJCJが評価してくださったおかげで、私もこの道を歩んでいいのだと、すごく励まされました。

私は大学でジャーナリズム論を学び、ジャーナリズムの仕事に尊敬し、その力を信じて記者になりました。

フリーランスになり、ジャーナリストの肩書に恥じない仕事ができているか悩み、迷いながらの9カ月でしたが、これからは賞に恥じない仕事をしていきます。

記者会見を仕切るという仕事を業務にしている企業があることを知らないうちにはなかつたが、ジャーナリズム問題の2回目ジャーナリストの存在だったのは、「指名候補記者」「指名NG記者」の色分けリストの存在だった。政治家でも芸能プロでも記者会見を開くのは何か「伝えたいこと」があるため、政治家も記者に話すことで世の中に自分の政治信条をアピール

できるし、企業が問題を起したとき、「謝罪会見」をうまくすればかえって企業イメージが上がる。タレントもあまり傷つかないスキル。シングルを書いてもらって自分を売り出すことを考えた。▼そんな虚々実々の駆け引きの場なのに、仕切りができるタレントもいっぱいいる。ジャーナリズムの危機がある。

# コロナ日誌

—「新型コロナウイルス肺炎」と社会(42)

日	内容
9月8日	2023/10/6現在 全国の保育園や幼稚園、学校で新型コロナやインフルエンザ感染による学級閉鎖が夏休み明けから増加。日本学校保健会登録4万施設の集計で、8月25日の2学期開始時点のコロナ11クラスから515クラスとなったことがわかった。インフルエンザも同様で1クラスが186クラスに増えた。9月3日まで1週間の全国のコロナウイルス平均患者数は、1医療機関あたり20.50人と3週連続増加と厚労省
15日	10日まで1週間の全国のコロナウイルス平均患者数は、1医療機関あたり20.19人とわずかに減少、0.98倍と増加がストップ/厚労省は10月から、患者支援を全額負担から一部自己負担へ/21年度のコロナ感染対策に計上の国会承認なしの予備費計上は8兆2000億円。事業ごとの公表表と会計検査院新型コロナのオミクロン株派生型に対応したワクチンの接種が、生後6か月以上のすべての人を対象に始まった。当面は自己負担なし
20日	17日まで1週間の全国のコロナウイルス平均患者数が1医療機関あたり17.54人と前の週比0.87倍になり、2週連続の減少となった
22日	24日まで1週間の全国のコロナウイルス平均患者数が1医療機関あたり11.01人と前週比では0.63倍で、減少も3週連続に
29日	1日まで1週間の全国のコロナウイルス平均患者数が1医療機関あたり8.83人と前の週比0.8倍に。4週連続の減少にピークアウトの可能性も期待が高まる



# 視 角

記者会見を仕切るという仕事を業務にしている企業があることを知らないうちにはなかつたが、ジャーナリズム問題の2回目ジャーナリストの存在だったのは、「指名候補記者」「指名NG記者」の色分けリストの存在だった。政治家でも芸能プロでも記者会見を開くのは何か「伝えたいこと」があるため、政治家も記者に話すことで世の中に自分の政治信条をアピール

# 命ぬ水 映し出された沖縄の50年 「調査」にも地位協定の壁

琉球朝日放送 島袋 夏子さん



2016年、沖縄県企業局が川や地下水の有害な化学物質・PFAS（有機フッ素化合物）検出公表をきっかけに、共同ディレクターのイギリス人ジャーナリスト・ジョン・ミッチェルさんと私、又吉謙カメラマンの三人で取材しました。

沖縄県民が飲む「水」の水源は、地下水を蓄える13kmにも及ぶ石灰岩質の帯水層です。その水が米軍基地のPFASによって汚染された。このことからタイトルを「命ぬ水（命の水）としました。私たちの先祖代々の命を守ってきた帯水層は沖縄戦の時に県民が命を守るために逃げ込んだガマに繋がっています。沖縄戦の時、17歳で「鉄血勤皇隊」だった私の父の話にもガマの話が沢山出てきました。ガマの中でどうして生きて行けたのかという奥に水があったからです。

水の問題は基地問題の社会的構造を浮き彫りにしました。基地は上流にあり、下流に住む県民はその水を知らないまま飲まされてしまう。基地問題の構造、上流と下流の話なのだということに気づきました。

染で社会インフラが大きくなり変りました。沖縄の環境史、公害史に刻まれる事件だと思っています。共同ディレクターのジョン・ミッチェルさんと私は土壌汚染取材から始まった13年間の仲間です。ジョンさんが米の「情報

自由法で資料を入手し、内部告発者から文書を取ってくる。沖縄の記者の私は現場取材や裏取りをし、歴史的な文脈から資料を読み解く。役割分担を続けてきました。私たちの前には地位協定の壁があり、立ち入り

調査ができずにいますし、この問題の根本的解決には多くの障害があります。琉球朝日放送は番組を YouTube で全部公開し、英語版で国際社会に訴えています。皆さんとつながり解決に取り組みたいと思います。

「ウクライナが核兵器を手放したのは正しい選択だった」と語っています。これに対してボグダンさんは、「あの時、核兵器を手放さなかったらロシアの侵攻はなかったのではないかと、手放すべきではなかった」と考えており、実際に口にもして

の言葉の強さ。それは私たちに不安な気持ちの次の日には自信を与えてくれるものでした。番組にはアメリカのオバマ政権で国防長官を務めた核兵器なき世界を提唱したウイリアム・ペリーさんにも出てもらいました。

ペリーさんの出演交渉は難航しました。本人は「もう引退している」と固辞しましたが、粘りに粘り、ウラジミールさんの動画を見てもらったので、それが彼の心を動かしたのだと思います。ウラジミールさんとペリーさんという同時代に

違ふ立場にいた人の思いが通じ合い、後の世代に残さなければいけないメッセージになったのだと思います。ウクライナの現実には立ちすくみません。だからこそ目をそらすずにこれからも番組制作していきたいと思っています。

## 市民と核兵器 ウクライナ 危機の中の対話 現実から目をそらすな

NHK・Eテレ 岡田 亨さん



戦争中の核大国のトップが核の使用をほのめかす、これは歴史上初めてのことではないか。人類が作り上げてきた危ういシステムの矛盾の最先端にウクライナが立たされていると感じました。

番組は日本で育ったボグダン・パルホメンコさんという1人のウクライナ人を軸に、いまウクライナの人たちが核の脅威にどう向きあっているの

かを描いています。番組は、ボグダンさんなしにはできず、今年の始めからディスカッションをしてきましたが、全く先が見通せない企画でした。

番組の旅人になってくれたボグダンさんの祖父への尊敬、そしてやさしく、別の地平を指し示していたウラジミールさん

「ルポ死亡退院」は、八王子にある精神病院の虐待の実態、そして病院がいかに必要悪として成立し、社会が見て見ぬふりをしているのかをテーマに制作しました。

2本目は2021年放送の「下コメント」精神科病院×新型コロナウイルス。新型コロナウイルス感染拡大から、都立松沢病院の新型コロナウイルス専用病棟に1年間密着しました。クラスターが起きた東京中の精神科病院から患者が送られてくる中、精神病差別とも言える合併症治療の貧困、東京にもレベルが低いと言わざるを得ない病院が多く存在すること、その中で当事者の方が見えなくなりました。

原発事故、新型コロナウイルスの取材を通して見えてきた精神科病院を取り巻く環境、取材の中で浮かび

# リレー時評



J.C.J.代表委員 白垣 詔男

岸田文雄首相は9月20日（日本時間）の国連総会演説で、「人間の尊厳こそが2023年以降の国際目標を今後検討する上でも、国際社会の未来を照らす中核的理念となるべきだ」と指摘、「人間の尊厳を強化するために協調する国連を実現したい」と「人間の尊厳」を前面に打ち出して力説した。

ではどうだ。「人間の尊厳」など頭にないようにみえる差別発言を繰り返してきた自民党の杉田水

ヨゴリやアイヌの民族衣装のコスプレおぼさんまで登場。完全に品格に問題があります」などと追及、昨年12月になっ

議員を総務政務官として任命。野党などは杉田議員のブログ発言を国会で追及、昨年12月になっ

職に起用した。岸田が総裁として反対した形跡はない。岸田が国連演説して10日もたっていない

た。「杉田発言の人権侵犯ニュース」が広まった20日、茂木敏充自民党幹事長は記者会見で記者からの質問に「残念だと思

稿で、性的少数者について「彼女らは子供をつくらない、つまり『生産性』がない」と書いた。20年には自民党の部

会で、性暴力被害を巡って「女性はいくらでも嘘をつけますから」と。ジャーナリストの伊藤詩織

さんを中傷する投稿に「いいね」を押したことに関して賠償を命じられる判決も受けている。

## 「人間の尊厳」は口先だけなのか

杉田議員は2016年、国連女性差別撤廃委員会に日本から参加した人たちについて「チマチ

ログに差別的な内容を投稿した。これについて札幌法務局は、当事者らが「人権侵犯だ」と訴えていたことを受けて9月7日付で「人権侵犯」と認定、救済を申し立てた当

て、杉田議員はこの「発言」を撤回、謝罪した。岸田首相はその後、彼女を更迭したが、杉田発言が「人権侵犯」と認定された後の9月29日に自民党は環境部長代理の要

う」と一言述べただけで、自民党の「人権感覚」の浅さを露呈させた。

他人の尊厳を傷つけるような言動を杉田議員は、これまで数多く見せると。18年に月刊誌への寄

挙でマイナスになる「岸田政権内」に杉田議員を批判する声は広がらない、と10月2日付の西日本新聞は書いている。

しかし、「杉田氏に好意的な保守層」は、人権を侵犯する発言に対して「好意的」なのか。「保守層」からは杉田発言についての意見は出ない。

そうした「保守層」に支えられているとしたら自民党の人権感覚には問題が多く、岸田首相の国連発言は口先だけで、国民いや全世界の人々を欺くものだと言わざるを得ない。

も多くの関心が寄せられ、状況が改善していくように取材を続けていきたいと思っております。

# 悪化が進む貧困状況

## JCJ賞贈賞式 雨宮処凛さん講演

2006年、フリーター組のメンバーで「聞いた「生きさせろ！」の叫びから貧困問題にかかわり17年。当時、1600万人だった非正規雇用は、いまでは2100万人です。

07年に反貧困ネットワークが結成され翌年暮れの年越し派遣村に505人が来ましたが、うち女性5人。コロナ1年目の職を失った人の相談会

### コロナ禍で激増

07年に反貧困ネットワークが結成され翌年暮れの年越し派遣村に505人が来ましたが、うち女性5人。コロナ1年目の職を失った人の相談会

3年前立ち上げた「新型コロナ災害緊急アクション」という恒久的なネットワークにはこれまでに2000件以上のSOSが来ましたが、いまも来ています。相談者は10代から30代が6割です。派遣村の時と違って、今は子ども連れの若いや若い女性も増えました。

# 中高年から若年層へ女性の困窮も深刻化

3年前立ち上げた「新型コロナ災害緊急アクション」という恒久的なネットワークにはこれまでに2000件以上のSOSが来ましたが、いまも来ています。相談者は10代から30代が6割です。派遣村の時と違って、今は子ども連れの若いや若い女性も増えました。

「お金の渡し、近くの安いホテルを探してから、区役所に生活保護申請をすることになりました。都内での炊き出しや食品配布でも、コロナ前は50〜60人でした。それがコロナでどんどん増えて、今年5月には750人くらいが並びました。コロナ前は、近隣の中高年のホームレス状態の人が並んでいたが、今は子ども連れの若いや若い女性も増えました。

「お金の渡し、近くの安いホテルを探してから、区役所に生活保護申請をすることになりました。都内での炊き出しや食品配布でも、コロナ前は50〜60人でした。それがコロナでどんどん増えて、今年5月には750人くらいが並びました。コロナ前は、近隣の中高年のホームレス状態の人が並んでいたが、今は子ども連れの若いや若い女性も増えました。



3年前立ち上げた「新型コロナ災害緊急アクション」という恒久的なネットワークにはこれまでに2000件以上のSOSが来ましたが、いまも来ています。相談者は10代から30代が6割です。派遣村の時と違って、今は子ども連れの若いや若い女性も増えました。

今の日本では経済危機や災害、感染症流行など何かあると家を奪われるなど生活が破壊される人が一定数いて、どんどん増えています。

### 貧困報道の貧困

この10数年の貧困報道は、表面に現れたものがブームになり、それが消費されて終わるという感じをうけます。17年も現場にいると、取材に来る人も代わっていく。もちろん継続的に取材をしている人もいますし、新人を連れてきて一から教えるような人もいますが、一般的に継続されていない。貧困報道がどんどん「貧困」になっている気がします。

独自の調査報道による作品と、継続的な取材を行ってきた作品がともに候補作に上がった。

核攻撃被害まで想定しゼネコンと秘密会合、全国300自衛隊基地「強靱化」計画のスクープ、新聞赤旗は、全国の自衛隊基地強靱化計画の具体的な内容を内部文書とともに明らかにし、防衛

### 【新聞部門】

独自の調査報道による作品と、継続的な取材を行ってきた作品がともに候補作に上がった。

核攻撃被害まで想定しゼネコンと秘密会合、全国300自衛隊基地「強靱化」計画のスクープ、新聞赤旗は、全国の自衛隊基地強靱化計画の具体的な内容を内部文書とともに明らかにし、防衛

独自の調査報道による作品と、継続的な取材を行ってきた作品がともに候補作に上がった。

核攻撃被害まで想定しゼネコンと秘密会合、全国300自衛隊基地「強靱化」計画のスクープ、新聞赤旗は、全国の自衛隊基地強靱化計画の具体的な内容を内部文書とともに明らかにし、防衛

# 「JCJ賞」最終選考9候補作品を紹介

今回のJCJ賞には、新聞34点、出版46点、放送その他27点、計207点の応募の中から推薦委員会が新聞部門5作品、出版部門5作品、放送その他5作品の計15候補作を推薦。選考委員会がJCJ大賞1点、JCJ賞5点を選んだ。選考委員の上西充子・法政大教授の全体講評から最終候補作を紹介する。

### 【出版部門】

「私は「ひとり新聞社」岩手県大槌町で生き、考え、伝える」(菊地由貴子)は、東日本大震災による津波被害の大きかった大槌町に生まれた菊地さんが、一人で新聞社を立ち上げた経緯を記した作品。被災地域では地元の生活に関わる具体的な情報が求められることがよく分かった。

「黒い海 船は突然、深海へ消えた」(伊澤理江)は第54回大宅壮一ノンフィクション賞受賞作。漁船はなぜ沈没したのか、その原因究明に乗り出した伊澤さんの取材力が、潜水艦のプロである当時の海上自衛隊の潜水艦隊員から聞き出した。放送・その他

「私は「ひとり新聞社」岩手県大槌町で生き、考え、伝える」(菊地由貴子)は、東日本大震災による津波被害の大きかった大槌町に生まれた菊地さんが、一人で新聞社を立ち上げた経緯を記した作品。被災地域では地元の生活に関わる具体的な情報が求められることがよく分かった。

「黒い海 船は突然、深海へ消えた」(伊澤理江)は第54回大宅壮一ノンフィクション賞受賞作。漁船はなぜ沈没したのか、その原因究明に乗り出した伊澤さんの取材力が、潜水艦のプロである当時の海上自衛隊の潜水艦隊員から聞き出した。放送・その他

「私は「ひとり新聞社」岩手県大槌町で生き、考え、伝える」(菊地由貴子)は、東日本大震災による津波被害の大きかった大槌町に生まれた菊地さんが、一人で新聞社を立ち上げた経緯を記した作品。被災地域では地元の生活に関わる具体的な情報が求められることがよく分かった。

「黒い海 船は突然、深海へ消えた」(伊澤理江)は第54回大宅壮一ノンフィクション賞受賞作。漁船はなぜ沈没したのか、その原因究明に乗り出した伊澤さんの取材力が、潜水艦のプロである当時の海上自衛隊の潜水艦隊員から聞き出した。放送・その他

「私は「ひとり新聞社」岩手県大槌町で生き、考え、伝える」(菊地由貴子)は、東日本大震災による津波被害の大きかった大槌町に生まれた菊地さんが、一人で新聞社を立ち上げた経緯を記した作品。被災地域では地元の生活に関わる具体的な情報が求められることがよく分かった。

「黒い海 船は突然、深海へ消えた」(伊澤理江)は第54回大宅壮一ノンフィクション賞受賞作。漁船はなぜ沈没したのか、その原因究明に乗り出した伊澤さんの取材力が、潜水艦のプロである当時の海上自衛隊の潜水艦隊員から聞き出した。放送・その他

「私は「ひとり新聞社」岩手県大槌町で生き、考え、伝える」(菊地由貴子)は、東日本大震災による津波被害の大きかった大槌町に生まれた菊地さんが、一人で新聞社を立ち上げた経緯を記した作品。被災地域では地元の生活に関わる具体的な情報が求められることがよく分かった。

「黒い海 船は突然、深海へ消えた」(伊澤理江)は第54回大宅壮一ノンフィクション賞受賞作。漁船はなぜ沈没したのか、その原因究明に乗り出した伊澤さんの取材力が、潜水艦のプロである当時の海上自衛隊の潜水艦隊員から聞き出した。放送・その他

「私は「ひとり新聞社」岩手県大槌町で生き、考え、伝える」(菊地由貴子)は、東日本大震災による津波被害の大きかった大槌町に生まれた菊地さんが、一人で新聞社を立ち上げた経緯を記した作品。被災地域では地元の生活に関わる具体的な情報が求められることがよく分かった。

「黒い海 船は突然、深海へ消えた」(伊澤理江)は第54回大宅壮一ノンフィクション賞受賞作。漁船はなぜ沈没したのか、その原因究明に乗り出した伊澤さんの取材力が、潜水艦のプロである当時の海上自衛隊の潜水艦隊員から聞き出した。放送・その他

「私は「ひとり新聞社」岩手県大槌町で生き、考え、伝える」(菊地由貴子)は、東日本大震災による津波被害の大きかった大槌町に生まれた菊地さんが、一人で新聞社を立ち上げた経緯を記した作品。被災地域では地元の生活に関わる具体的な情報が求められることがよく分かった。

「黒い海 船は突然、深海へ消えた」(伊澤理江)は第54回大宅壮一ノンフィクション賞受賞作。漁船はなぜ沈没したのか、その原因究明に乗り出した伊澤さんの取材力が、潜水艦のプロである当時の海上自衛隊の潜水艦隊員から聞き出した。放送・その他

# 川崎ヘイトスラップ訴訟 石橋記者高裁で勝訴

2019年の川崎市議選に立候補したヘイト候補(レイシスト)が神奈川新聞の石橋記者の複数の記事や発言を名誉棄損として訴えた訴訟の控訴審で、東京高裁は10月4日、一番の横浜地裁川

崎支部が、発言の一部に「不法行為が成立」として認定を取り消し、原告の請求を全面的に棄却した。これで石橋記者がヘイトスピーチを批判した一連の記事と発言のすべてが「正当」であると法的に認められたことは「評価」できるが、もともと石橋記者への提訴は、報道の萎縮を狙ったスラップ訴訟。レイシストやヘイト団体との闘いはその根絶まで終わらない。

# 国の代執行でも工事は不可能だ

いったい日本政府は沖縄を何だと思っているのか!! 辺野古新基地建設の設計変更を巡る沖縄県

敗訴の最高裁判決を楯に、玉城デニー知事の国連出張中(9月19日)に「承認勧告」を送りつけ、1週間後に「承認指示」(10月4日期限)、それに知事が応じないと見るや、間髪を入れず翌5日、県に替わって国が「承認」を行うための代

執行訴訟を福岡高裁那覇支部に提起。しかも、第1回口頭弁論(10月30日予定)で即日結審するよう要求した。矢継ぎ早に、たたみかけるような政府のやり口は、沖縄を徹底的に潰してやると言わんばかりだ。

県民投票で明確に示された民意であり自らの公約でもある「新基地反対」と、行政の長としての法11最高裁判決の順守という二律背反に引き裂かれ、苦悩しつつも筋を通した知事の姿は県民の心に焼き付き、政府の攻撃の理不尽さをいっそう際立たせた。

知事が承認しないことが著しく公益を害する」といふ言葉は、そっくりそのままと返したい。7日に開催された辺野古ゲート前県民大行動には、そんな思いの県民900人が結集し、政府への抗議の怒りと「知事は民主主義の根幹を全うした。公益という言葉を大きく上げた」写真。最高裁判決を厳しく批判し、代執行手続きの中止を求める声明(9月27



沖縄県民大行動の様子。抗議の怒りと「知事は民主主義の根幹を全うした。公益という言葉を大きく上げた」写真。

# 沖縄リポート

日付)を発表した全国101人の行政学者を代表して、琉球大学の徳田博人教授が「法を守らないのが沖縄県だ」という国のプロパガンダを信じている国民が多いので、声明を出した」「法理的に判断が物理的に不可能なものをする」とは、着工前の今が、このバカげた工事を止められるチャンスだ。政府に良識ある賢者はいないのだろうか??

浦島悦子

# JCJ沖縄が抗議声明

## 代執行提訴は不当

### 司法と政府の「共謀」批判

新基地承認

JCJ沖縄は16日、国が玉城デニー沖縄県知事に代わり辺野古新基地建設の設計変更を承認する代執行を求め、福岡高裁那覇支部に提訴したことに対し、緊急抗議声明を発した。声明全文はJCJホームページに掲載している。

また、それに先立ち14日、那覇市内で「世界情勢から見る新基地建設問題」をテーマに例会を開いた。沖縄国際大学特任教授(政治学)の佐藤学さんが講話。新基地建設は米軍を沖縄に日本に引き留め続ける手段とし、「日本は中国を前に米国にしがみつこうとしているが、果たしてそれで大丈夫なのか」と疑問を投げかけた。

建設の口実はこの間、冷戦構造、北朝鮮の脅威、台湾危機など変化してきたと指摘。一方、米内世論が新基地建設を後押ししているとした。

米国は対中国で空軍のローテーション配備と、海兵隊地上戦闘部隊の沖縄配備を進める。

「新基地がなくても日本の安全保障が成り立たないわけではないが、新基地建設を止められなければ沖縄が戦場になってしまうことを止められたい」と危惧した。

JCJ沖縄・編集部

## 「ジャーナニース事件」暴けなかったマスコミ

## 会社員化した記者とタテ割り組織の弊害

鮫島氏オンライン講演



ジャーナニース事件を浮上させる引き金になった英BBCの事件報道(3月)の取材に協力した元朝日新聞記者の政治ジャーナリスト・鮫島浩氏(写真)は、マスコミはなぜジャーナニース多川による少年への性加害を暴けなかったかを9月30日のJCJオンライン講演で語った。

BBCディレクターのメグミ・インマン氏の取材の狙いは2つだったと鮫島氏は解説した。①マスコミの芸能・文化部のジャーナニース担当記者らを取材しジャーナニース多川の性加害実態を浮き彫りにする。②事件を報じなかった日本のマスコミの閉鎖性と、上層部はどう向き合ってきたかを追求する。

鮫島氏は「①については性被害者への取材もできてジャーナニース多川の性加害事件をあぶり出せてきた。政治部、経済部、社会部など各部の領域を超えて取材。「強固なタテ割り組織に阻まれ突破するのは容易ではなかった」(鮫島氏)。

タテ割り組織が事件を報じられなかった原因の一つと指摘した鮫島氏は「ジャーナニース担当記者が嫌われたら仕事にならないから、ちようちん記事ばかり書く。政治家の番記者と同じ構図が芸能界でも起きていた。特別報道部のような部署がタテ割り組織の壁を崩し取材できる可能性がある」と

## 「分断にも至らぬ現実」「無関心層にどう伝える」

映画「国葬の日」 大島新監督語る



JCJオンライン講演会

安倍晋三首相の昨年9月27日の国葬から1年、10月3日に開いたJCJオンライン講座では、映画「国葬の日」の大島新(あらた)監督の「国葬」に映画製作から見えてきた日本の現実を語ってもらった。大島氏は「日本は大丈夫か」という思いを深くしたと、民主主義が機能していない状況に強い危機感を示した。

国葬が行われた日の国民の姿をリアルに捉えようと、全国10都市でカメラをまわした。取材したタクシー運転手が「デモをやっても遅いでしょ。国が決めたことだから」と説明した。デスク時代に「この事件を迫及すればよかった」と述べた。

原因の一つは記者の「会社員化」だ。「相手から抗議を受けそうな事案はさわらず、やりやすい問題をやって上司の評価を得た方がプラスになる」という、リスクを取らない会社員化した記者が社内にも蔓延している。これでは風穴を開ける調査報道は無理です(鮫島氏)。

共犯性があると批判されたマスコミが信頼を回復するには自己検証し上層部を処分するというウミを出すべきだと鮫島氏は強調した。 橋詰雅博

中間層の人たちが多く、それは「いつも周囲の目を窺っている、自分で決めない、多数派に追随する流れになっている」ことが浮かび上がったという。

なので「分断にもなっていない」とみる。分断があるとするならば「賛成か反対かではなく、関心と無関心の間にある分断だ」と話した。

問題は「おかしなことをおかしなと言わずあけても伝わっていない現状」を指摘、特に政権に反対しているリベラルの声を伝わっていない現実をもっと直視すべきだと強調する。例えばデモのプラカードの言葉も、「政治に無関心な人たちに伝える言葉がどういうものかを考える必要がある。立ち位置によって見えているものが違うのだから」と説明。この映画は「現状を認識するためにつくった」という。

映画を観た人の反響では、「反対を訴えて行動した人たちが大勢いたのに、なぜもっと取り上げられなかったのか」など、強く反対する人ほど、この映画に反発する人が多かった。

大島氏は「そういう皆さんにこそ今の現実を見ていただきたい」と話し、リベラルがもっと豊かな言葉で、無関心層など立場の違う人たちの対話を広げてほしいと期待を語った。映画は全国で上映中。 鈴木賀津彦

おこわり5面連載の「フォトアングル」は8面に掲載しました。

増加している実態が明らかになっている。

これまで政府が言ってきたマイナ保険証のメリットも怪しい。マイナカードによって正確な資格情報がありタイムで確認できないし、暗証番号を入手すればなりすまし受診は可能だ。

勝亦さんは報道機関の論調も「保険証存続」に傾き、自治体からも「見直し」の声が上がった現状にふれた後、医療DXと呼ばれる医療分野における政府の狙いについて語った。そこではマイナカードを取得・利用させながらそれを義務化はせず、損害については利用者の自己責任とする。医療情報は健康や身体に関する機微にわたる個人情報であり、強引なデジタル化に「対抗する必要がある」と強調した。 保坂義久

支部レポート

神奈川支部は10月7日、神奈川県保険医協会・事務局の勝亦琢磨さん(写真)を講師に迎え、「マイナ保険証」をテーマに横浜市内で例会を開いた。勝亦さんは最初に、健康保険証の役割や、政府の急激な保険証廃止の動きを説明した。

「マイナ保険証」とはマイナンバーカードを健康保険証として利用すること。カードに入っているICチップによってオンラインで資格確認をするシステムだ。

マイナンバーカードは2016年に発行されたが2020年4月時点で16%の普及にとどまっていた。医療機関でのオンライン資格確認システムは2021年10月に始まったが導入率は22年5月時点で19%。そのため政府は、国民向けにマイナポイントの支給、医療機関にはシステム導入の初期費用の支給という「アメ」と、24年秋までに保険証廃止と医療機関のオンライン認証システム原則義務化の「ムチ」による政策を打ち出した。

そして23年3月に「保険証廃止法案」を国会提出し、6月に成立させた。しかし5月中旬からマイナ保険証に他人の情報がつぶつけられるなどのト

反対しているリベラルの声を伝わっていない現実をもっと直視すべきだと強調する。例えばデモのプラカードの言葉も、「政治に無関心な人たちに伝える言葉がどういうものかを考える必要がある。立ち位置によって見えているものが違うのだから」と説明。この映画は「現状を認識するためにつくった」という。

映画を観た人の反響では、「反対を訴えて行動した人たちが大勢いたのに、なぜもっと取り上げられなかったのか」など、強く反対する人ほど、この映画に反発する人が多かった。

大島氏は「そういう皆さんにこそ今の現実を見ていただきたい」と話し、リベラルがもっと豊かな言葉で、無関心層など立場の違う人たちの対話を広げてほしいと期待を語った。映画は全国で上映中。 鈴木賀津彦

おこわり5面連載の「フォトアングル」は8面に掲載しました。

増加している実態が明らかになっている。

これまで政府が言ってきたマイナ保険証のメリットも怪しい。マイナカードによって正確な資格情報がありタイムで確認できないし、暗証番号を入手すればなりすまし受診は可能だ。

勝亦さんは報道機関の論調も「保険証存続」に傾き、自治体からも「見直し」の声が上がった現状にふれた後、医療DXと呼ばれる医療分野における政府の狙いについて語った。そこではマイナカードを取得・利用させながらそれを義務化はせず、損害については利用者の自己責任とする。医療情報は健康や身体に関する機微にわたる個人情報であり、強引なデジタル化に「対抗する必要がある」と強調した。 保坂義久



## マイナ保険証テーマに —神奈川支部— メリットも怪しい

闇バイト 凶悪化する若者のリアル

廣未登

### 新手法の犯罪を複眼的に分析・考察

本書は、自身も非行歴のある犯罪学者で、更生支援の担い手（保護司、更生保護施設職員など）という二つの顔を持つ著者が、闇バイトの実態とリスクについて当事者たち取材してまとめたものである。闇バイト

に巻き込まれていく大学生のフィクションから始まり、仕掛け人「半グレ」の横顔、実態と犯罪現場、リスクと真実、さらに闇バイトを生み出す社会構造等まで幅広い視点から複眼的に分析・考察している。

本書はマスコミ報道ではイメージしにくい、闇バイトの勧誘方法、一度関わると逮捕されるまで脅迫行為の内容など、現場の実態がイメージしやすい。本書を手にとった読者は闇バイトに関わった人のリアルな展開に大いに興味を持って一気に

読破されるであろう。一方、本書は闇バイトに巻き込まれないための対策についても支援者及び当事者の証言を取り上げている。さらに銀行口座開設できなくなるなど、闇バイトに関わることと生じる社会生活上のリスク、社会復帰の困

難性を指摘している。本書は、読者及び身近な人が闇バイトに巻き込まれることを防止する道標となることは間違いない。闇バイトに巻き込まれない、被害に遭わないための必読の書として、一般読者だけでなく、学校教育の関係者など全世代に一読いただきたいものである。（祥伝社新書930円）中村秀郷（西南学院大学准教授）



### 書評

### 本・BOOK・ほん

（価格は税別です）

年間4万人を銃で殺す国、アメリカ 矢部 武 終わらない「銃社会」の深層

## 「銃社会」米国に潜む不安と恐怖の病巣を抉る



奪われているという。本書はこの不可解な現実の原因を探りながら、現代の米国が抱える本質を解き明かしている。

「国民が武器を所有し、携帯する権利はこれを侵してはならない」とする合衆国憲法修正第2条の存在は、よく知られたところだ。さらに米国最強のロビー団体「全米ライフル協会」が豊富な資金力を背景に政治家への強力なロビー活動を行っている。1994年の中間選挙では、銃規制法案に賛成した民主議員に対し、報復としての批判キャンペーンを大きく展開し、大量の落選者を出したエピソードを紹介している。

こうした政治的な側面に加え、「個人の自由と権利、憲法などへの異常なほどの執着、こだわり」を持つ米国人の本質まで踏み込んだことだ。

米国の熟知した国際ジャーナリストである筆者の探求はそこにとどまらず、もともと心の中に不安や恐怖を抱えた人が多くいるという米国の姿も捉えている。さらに隣国メキシコからの移民が標的となった乱射事件の背景には、白人至上主義を擁護し活気づけたトランプ前大統領の存在があると指摘する。

現代の米国が抱えるある種の闇へと迫ったうえで、差別や陰謀論などがはびこる理由の一端もあぶり出した。銃問題を入り口に、米国とは何かを考える機会を、読者に与えてくれている。（花伝社1500円）半沢隆実（共同通信 論説委員）

被害者家族と加害者家族 死刑をめぐる対話 原田正治 松本麗華

## 「罪を償う」とは 新たな論点を提供する一冊



いく松本氏。被害者家族と加害者家族であることの垣根を超えて、ふたりは共感しあい理解し合う。まことに不思議な対話集になっている。

ことに、松本氏に科せられた過酷な人生は、読むだけでも切ない。ほとんど意思疎通ができない状態の父との面会。それでもなお、治療による回復によって、異界に彷徨う父の心を取り戻したいと願う娘の痛ましき。それを「死刑」によって断ち切られたことの悲哀。

「罪を償う」とはどういうことなのか。対話は最終的に、死刑制度そのものへの懐疑を抱卵して終わる。被害者家族と加害者家族の対話という稀有な小冊子が、新たな方向からの「死刑廃止論」を生んだと言えよう。（岩波ブックレット、630円）鈴木耕（編集者）

徹底検証 沖縄密約 新文書から浮かぶ実像 藤田直央

## 返還交渉の真実とは 米国追従外交の原点に迫る



省も核密約を否定し続け

筆者は密約に至る経緯を手書きで記した「若泉シナリオ」など5点の資料を入手する。同書から見えてくるのは、米国に追従し、国民に選択の材料として示すべき事実を隠す日本政府の姿だ。

2012年に米軍普天間飛行場に米軍の新型ヘリ・オスプレイが配備された際は、米側が数年前から表明していたにも関わらず日本政府は配備1

カ月前まで知らぬ存ぜぬを通した。15年に米軍普天間飛行場の移設先である名護市辺野古の大浦湾側で軟弱地盤が見つかった際も4年間隠していた際も4年間隠していたとまがなない。

復帰から51年たった今、日本政府は大浦湾を埋め立てて、機能を強化した基地を造るために沖縄の反対を抑え込み、米

国と約束した「唯一の解決策」との一点張り

で強権を振るっている。

いまも続く、隠蔽と米

追従を泉下の2人はどう

見るのだろうか、と考

えさせられる書だ。（朝日

選書1500円）

島洋子（琉球新報統

合編集局長）

は残されていない。外務

省も核密約を否定し続け

してきた。

筆者は密約に至る経緯

を手書きで記した「若泉

シナリオ」など5点の資

料を入手する。同書から

見えてくるのは、米国に

追従し、国民に選択の材

料として示すべき事実を

隠す日本政府の姿だ。

2012年に米軍普天

間飛行場に米軍の新型ヘ

リ・オスプレイが配備さ

れた際は、米側が数年前

から表明していたにも関

わらず日本政府は配備1

カ月前まで知らぬ存ぜぬ

を通した。15年に米軍普

天間飛行場の移設先であ

る名護市辺野古の大浦湾

側で軟弱地盤が見つかつ

た際も4年間隠していた

際も4年間隠していたと

まがなない。

復帰から51年たった

今、日本政府は大浦湾を

埋め立てて、機能を強化

した基地を造るために沖

縄の反対を抑え込み、米

国と約束した「唯一の解

決策」との一点張り

で強権を振るっている。

いまも続く、隠蔽と米

追従を泉下の2人はどう

見るのだろうか、と考

えさせられる書だ。（朝日

選書1500円）

島洋子（琉球新報統

合編集局長）

は残されていない。外務

省も核密約を否定し続け

してきた。

筆者は密約に至る経緯

を手書きで記した「若泉

シナリオ」など5点の資

料を入手する。同書から

見えてくるのは、米国に

追従し、国民に選択の材

料として示すべき事実を

隠す日本政府の姿だ。

2012年に米軍普天

間飛行場に米軍の新型ヘ

リ・オスプレイが配備さ

れた際は、米側が数年前

から表明していたにも関

わらず日本政府は配備1

カ月前まで知らぬ存ぜぬ

を通した。15年に米軍普

天間飛行場の移設先であ

る名護市辺野古の大浦湾

側で軟弱地盤が見つかつ

た際も4年間隠していた

際も4年間隠していたと

まがなない。

復帰から51年たった

今、日本政府は大浦湾を

埋め立てて、機能を強化

した基地を造るために沖

縄の反対を抑え込み、米

国と約束した「唯一の解

決策」との一点張り

で強権を振るっている。

いまも続く、隠蔽と米

追従を泉下の2人はどう

見るのだろうか、と考

えさせられる書だ。（朝日

選書1500円）

島洋子（琉球新報統

合編集局長）

は残されていない。外務

省も核密約を否定し続け

してきた。

筆者は密約に至る経緯

を手書きで記した「若泉

シナリオ」など5点の資

料を入手する。同書から

見えてくるのは、米国に

追従し、国民に選択の材

料として示すべき事実を

隠す日本政府の姿だ。

2012年に米軍普天

間飛行場に米軍の新型ヘ

リ・オスプレイが配備さ

れた際は、米側が数年前

から表明していたにも関

わらず日本政府は配備1

カ月前まで知らぬ存ぜぬ

を通した。15年に米軍普

天間飛行場の移設先であ

る名護市辺野古の大浦湾

側で軟弱地盤が見つかつ

た際も4年間隠していた

際も4年間隠していたと

まがなない。

復帰から51年たった

今、日本政府は大浦湾を

埋め立てて、機能を強化

した基地を造るために沖

縄の反対を抑え込み、米

国と約束した「唯一の解

決策」との一点張り

で強権を振るっている。

いまも続く、隠蔽と米

追従を泉下の2人はどう

見るのだろうか、と考

えさせられる書だ。（朝日

選書1500円）

島洋子（琉球新報統

合編集局長）

は残されていない。外務

省も核密約を否定し続け

してきた。

筆者は密約に至る経緯

を手書きで記した「若泉

シナリオ」など5点の資

料を入手する。同書から

見えてくるのは、米国に

追従し、国民に選択の材

料として示すべき事実を

隠す日本政府の姿だ。

2012年に米軍普天

間飛行場に米軍の新型ヘ

リ・オスプレイが配備さ

れた際は、米側が数年前

から表明していたにも関

わらず日本政府は配備1

カ月前まで知らぬ存ぜぬ

を通した。15年に米軍普

天間飛行場の移設先であ

る名護市辺野古の大浦湾

側で軟弱地盤が見つかつ

た際も4年間隠していた

際も4年間隠していたと

まがなない。

復帰から51年たった

今、日本政府は大浦湾を

埋め立てて、機能を強化

した基地を造るために沖

縄の反対を抑え込み、米

国と約束した「唯一の解

決策」との一点張り

で強権を振るっている。

いまも続く、隠蔽と米

追従を泉下の2人はどう

見るのだろうか、と考

えさせられる書だ。（朝日

選書1500円）

島洋子（琉球新報統

合編集局長）

は残されていない。外務

省も核密約を否定し続け

してきた。

筆者は密約に至る経緯

を手書きで記した「若泉

シナリオ」など5点の資

料を入手する。同書から

見えてくるのは、米国に

追従し、国民に選択の材

料として示すべき事実を

隠す日本政府の姿だ。

2012年に米軍普天

間飛行場に米軍の新型ヘ

リ・オスプレイが配備さ

れた際は、米側が数年前

から表明していたにも関

わらず日本政府は配備1

カ月前まで知らぬ存ぜぬ

を通した。15年に米軍普

天間飛行場の移設先であ

る名護市辺野古の大浦湾

側で軟弱地盤が見つかつ

た際も4年間隠していた

際も4年間隠していたと

まがなない。

復帰から51年たった

今、日本政府は大浦湾を

埋め立てて、機能を強化

した基地を造るために沖

縄の反対を抑え込み、米

国と約束した「唯一の解

決策」との一点張り

で強権を振るっている。

いまも続く、隠蔽と米

追従を泉下の2人はどう

見るのだろうか、と考

えさせられる書だ。（朝日

選書1500円）

島洋子（琉球新報統

合編集局長）

は残されていない。外務

省も核密約を否定し続け

してきた。

筆者は密約に至る経緯

を手書きで記した「若泉

シナリオ」など5点の資

料を入手する。同書から

見えてくるのは、米国に

追従し、国民に選択の材

料として示すべき事実を

隠す日本政府の姿だ。

2012年に米軍普天

間飛行場に米軍の新型ヘ

リ・オスプレイが配備さ

れた際は、米側が数年前

から表明していたにも関

わらず日本政府は配備1

カ月前まで知らぬ存ぜぬ



